

第21回中日産業技術賞「特別奨励賞」を受賞

第21回中日産業技術賞の贈呈式が昨年12月6日に名古屋観光ホテルにて行われ、当社電力技術研究所が(株)明電舎殿、(株)指月電機製作所殿と共同で開発した電気二重層キャパシタ式瞬時電圧低下補償装置(以後、キャパシタ式瞬低補償装置と呼ぶ)が「特別奨励賞」を受賞しました。

同賞は、中日新聞社の創業100周年を記念して1986年度に創設されたもので、我が国の産業技術の発展を願い、優れた産業技術や製品開発を対象に毎年顕彰しているものです。

「電気二重層キャパシタ」は、活性炭を電極に使用し、電気二重層という極めて薄い層を絶縁層とすることで、電解コンデンサの約百倍のエネルギーが蓄えられ、寿命

も15年以上と鉛蓄電池の2～3倍長く、使用材料も重金属等の有害物質を一切使用していないため、環境にも優しいという特長を持っています。

今回受賞したキャパシタ式瞬低補償装置は、この「電気二重層キャパシタ」を蓄電部に使用し、送電線への落雷などで瞬低が起きた場合に、わずか0.002秒で電気二重層キャパシタからの給電に切り替え、お客さまの工場の生産設備の停止・誤動作を防止することが可能です。

本装置は、接続電圧が低圧(200V)・高圧(6.6kV)容量も50～10000kVAと極めて幅広いラインアップを用意しており、平成16年4月の販売開始から年々販売台数を増やし、現在までに100台近くの導入実績があることも大きく評価されました。



表彰を受けた開発関係者(写真:中日新聞社提供)



賞状を受け取る3社代表



受賞の挨拶をされる越智副社長

技術開発PRビデオ

「技術開発に挑む! スペシャリストたち」

当社は、さまざまな技術開発を通して、皆さまの生活・生産基盤となる電力の安定供給や地球環境の保全に精力的に取り組んでいます。

このたび、高度で専門的な技術開発の内容を分かりやすくお伝えするため、PRビデオを制作しました。

制作にあたっては、技術開発に取り組む「研究者」の開発過程における「努力や苦労、喜び」を取り上げることで、親しみやすい内容としました。

当社ホームページでご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

ホームページ上の
アクセス順

中部電力の取り組み > 研究開発について >

『技術開発に挑む! スペシャリストたち』

<http://www.chuden.co.jp/torikumi/study/library/special.html>

